

JF-IETF-RFC3861

インスタントメッセージとプレゼン スにおけるアドレス解決方式

（ Address Resolution for
Instant Messaging and Presence ）

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC3861に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2009 年 5 月 27 日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC1034, RFC2119, RFC2434, RFC2778, RFC2779, RFC2782, RFC3859, RFC3860

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

プレゼンスとインスタントメッセージは RFC2778 で定義される。プレゼンスとインスタントメッセージの為の共通プロファイルはインスタントメッセージの受信箱(INSTANT INBOX)の為の'im'とプレゼンティティの為の'pres'の2つの統一リソース識別子(URI)スキームを定義する。本標準はこれらのスキームを用いるURIに結び付けられるリソースの位置特定の為の指導的事項を提供する。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC3861 : 「Address Resolution for Instant Messaging and Presence」